



2008年3月24日

関係各位

高千穂交易株式会社
代表取締役社長 戸田秀雄
(コード番号 2676 東証第1部)
問合せ先
取締役常務執行役員
経営システム本部長 赤堀寛人
電 話 03-3355-1111

犯罪から児童生徒を守る「ICタグ・スクールセキュリティシステム」を納入

～ 山口県下関市が公立小学校向けにシステムを導入 ～

高千穂交易株式会社は、アクティブICタグを活用して、犯罪から児童生徒を守り、安心安全な校内環境を確保する「ICタグ・スクールセキュリティシステム」を、山口県下関市の長府小学校向けに納入いたしました。

今回の案件は、西日本電信電話株式会社（NTT西日本）が山口県下関市から受注した、「IT活用安全・安心対策システム」の基幹アプリケーションとして、当社と子会社（株式会社エスキューブ）の開発した、「ICタグ・スクールセキュリティシステム」が採用されたものです。

「ICタグ・スクールセキュリティシステム」は、児童生徒一人ひとりの状況を「掴んで、知らせて、対処する」を総合的に実現するものです（システムの概要は別添をご覧ください）。

主な機能・特長*として、①登下校情報を掴み、保護者の携帯電話に知らせる、②校内で異常事態に遭遇した場合、防犯ブザー付きICタグで居場所を知らせる、③不審者の侵入を警報で知らせ、録画する機能を有しております。

* 詳しくは、2006年10月16日付で発表いたしましたニュースリリース（犯罪から児童生徒を守る、「ICタグ・スクールセキュリティシステム」の商品化と発売のお知らせ）をご覧ください。

今回納入いたしましたシステムの本運用（実証実験）は本年4月からを予定しておりますが、これにより、下関市が目指しておられる、「子どもを犯罪から守る」ための環境づくりに、少しでも貢献できるのではないかと期待しております。

当社では、これを契機に、下関市以外の地方自治体や私立学校などに対しても、システム導入を通じた「安全・安心・快適」な環境の提供に向け、他社との連携も含めて、引き続き積極的な働きかけを行ってまいりたいと考えております。

なお、今回の案件は、今期の業績予想に織り込んでおります。

以 上

ICタグ・スクールセキュリティシステムの概要

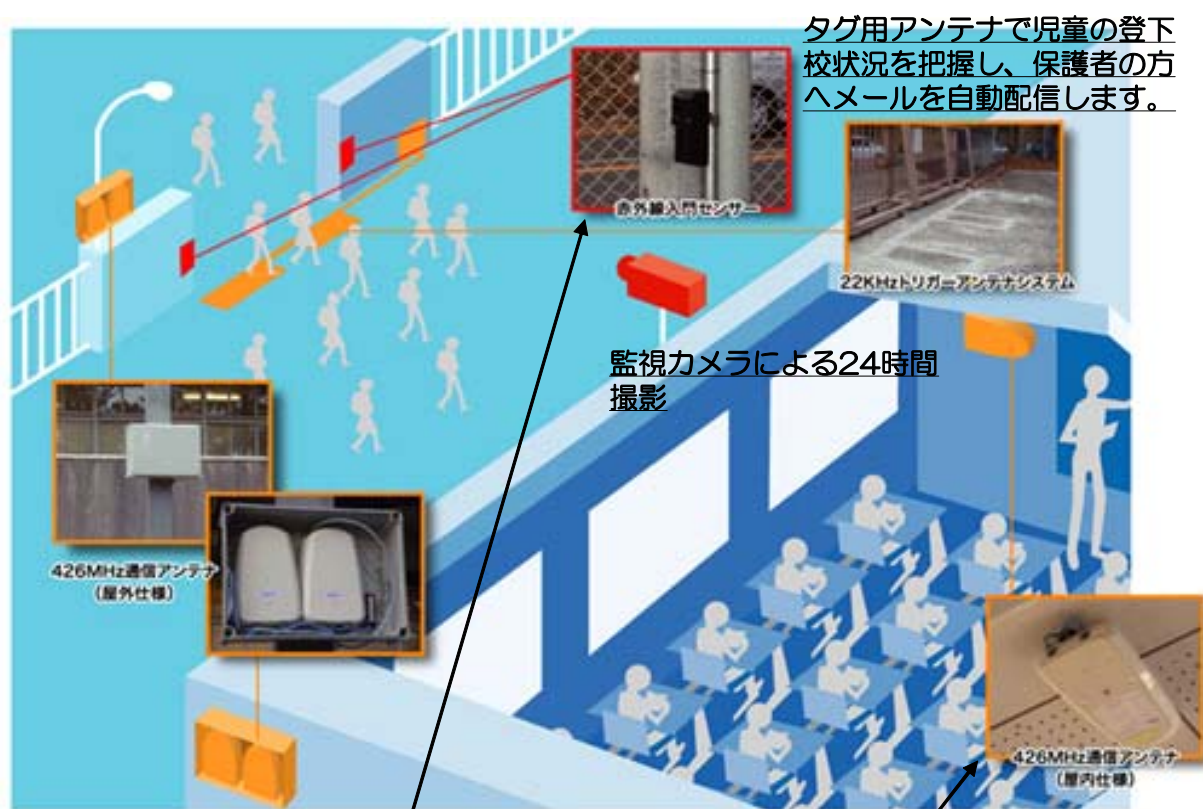
システムの概要

【平常時】

- ・児童生徒の登下校状況を把握し、希望する保護者には、その情報を電子メールで自動配信

【異常事態発生時】

- ・校門からICタグを所持しない人が侵入した場合、パトライトが点灯
- ・監視カメラによる校門の24時間撮影
- ・教職員が校地内で異常事態に気付いた場合、防犯ブザー付きICタグで位置情報を通知



赤外線センサーが校地内への不審者
を検知します。

緊急時、誰が、どこから防犯ブザー
を鳴らしたか検知します。